

## シミ・ソバカスに対する漢方治療

シミ・ソバカスの原因には、日焼けによるものや加齢によるものなどありますが、特に女性ホルモンや血流の停滞が関連した若い人から中年にかけてできるシミ(肝斑)などには、駆瘀血剤(活血化瘀薬)や当帰を含有する漢方薬の効果期待できます。

### 「肝斑」

20代後半から40才代の成人女性に多くできるシミで、頬や顔、唇の回り、まぶたの周囲などに薄茶色の不定形な色素斑として表れます。

妊娠・出産時のホルモンの影響で悪化したり、ピルを服用中にもできやすいことから女性ホルモン(黄体ホルモン)の影響があるほか、顔面の光の当たる部位に発症することから紫外線が誘因である他、年齢、ストレス、疲労、食事なども関係すると考えられています。

レバー色(明るい茶色)をしていることからこの名で呼ばれています。漢方の「肝」との関連性が認められますが、西洋医学的な意味で肝機能とは関係ないといわれます。

### 「肝斑」を含めた褐色～黒色のシミ・ソバカスに対する漢方治療

シミ・ソバカスの色が褐色から黒色を呈している場合、血流の停滞(微小循環障害)である瘀血が関係していることが多いため、漢方治療では桂枝茯苓丸、桂枝茯苓丸加薏苡仁などを中心にした駆瘀血剤(活血化瘀薬)を基本に、加味逍遙散や柴胡剤、六味地黄丸などを組み合わせて応用します。

## 今日の漢方処方.....桂枝茯苓丸《金匱要略》

比較的体力のあるもので、肩こり、頭重感、めまい、のぼせ、下腹部の抵抗圧痛、便秘、冷え症を伴うものを目標とします。代表的な駆瘀血剤で、月経異常や子宮内膜症などの女性生殖器の炎症、更年期障害といった婦人科系疾患に汎用されますが、睾丸炎など男性生殖器の炎症や、便秘、痔、打撲、内出血にも応用されます。また、にきびやしみなどの皮膚症状には薏苡仁を加味します。

### 桂枝茯苓丸の構成生薬

桂皮	茯苓
芍薬	牡丹皮
桃仁	

### 桃 仁

桃仁は、モモの成熟した種子中の仁を乾燥したものです。モモは長寿や魔除けの意味を持ち、その美しい花や実の形を模倣化したものを桃紋と称し、能の装束の紋様や各種紋章に利用されてきました。家紋にも多く用いられ、一つ桃紋、三つ桃紋、丸に桃紋、丸に葉付桃紋、蔓桃紋などがあります。

駆瘀血の代表生薬で、ホルモンの分泌異常による血液の滞りを改善するため、月経異常や更年期障害など、婦人科系疾患に汎用されています。打撲や内出血など、



外傷による血流障害から生じる症状にも応用されます。また、消炎、鎮痛、解毒、緩下作用を有するため、炎症性疾患や関節痛、筋肉痛、神経痛などの他、便秘にも使用できます。

主成分は青酸配糖体のアミグダリンで、加水分解酵素のエムルシンの他、フラボノイドや脂肪油、ステロール類、タンニン、有機酸などを含みます。アミグダリンは、加水分解すると青酸、ブドウ糖、ベンズアルデヒドを生じるため、服用量には注意が必要です。